
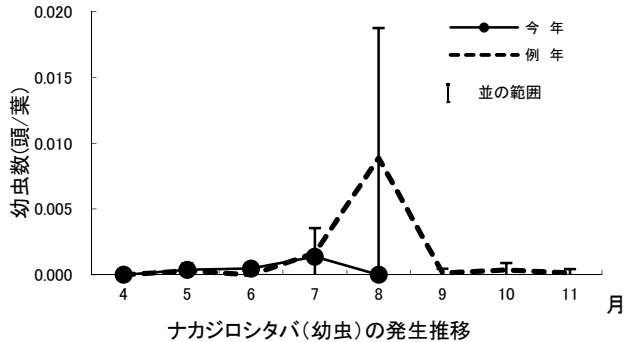
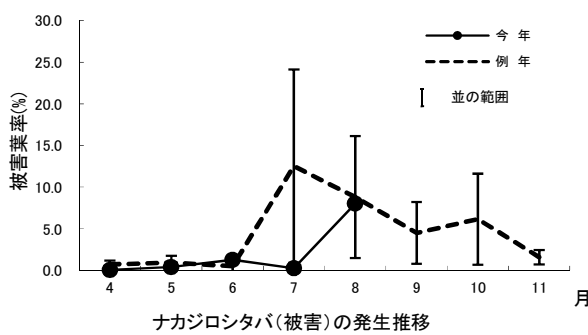


作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	① ナカジロシタバ		
8月の発生量(現況)	並		
9月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	幼虫数の例年の発生推移から、8月と同程度の発生量と考えられる。		

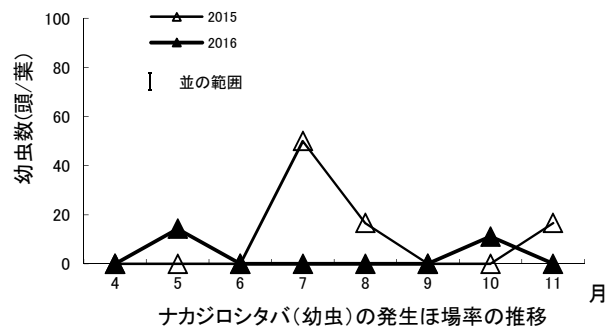
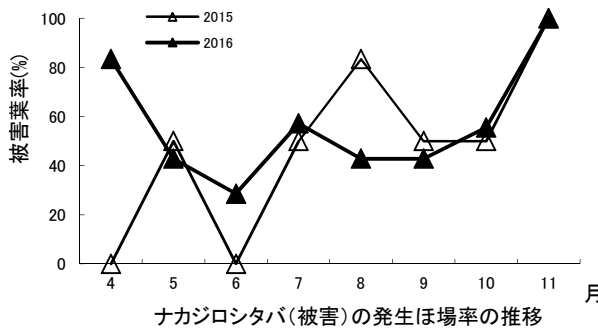
発生量の根拠(調査結果)

- ・ 8月下旬の調査の結果、被害葉率は8.0% (例年8.8%、前年0.8%) と例年並であった。
- ・ 幼虫数は100葉当たり0頭 (例年0.1頭未満、前年0頭) と平年並で、今回の調査中に幼虫は観察されなかった。

(今年のデータ)




(過去2年のデータ)



防除のポイント

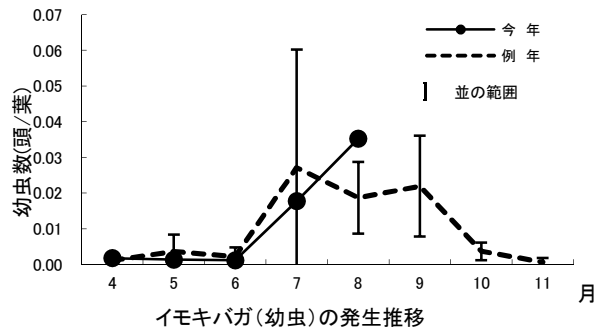
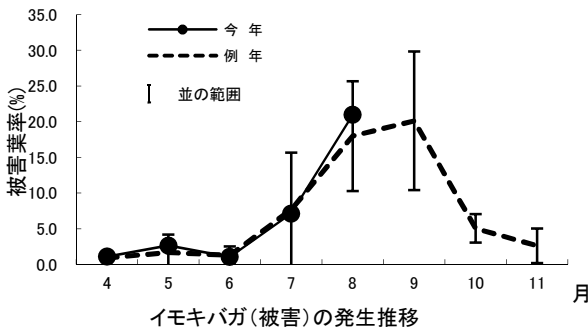
- ・ 老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。

作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	② イモキバガ		
8月の発生量(現況)	並		
9月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	被害葉率の例年の発生推移から、8月より発生量が増加すると考えられる。		

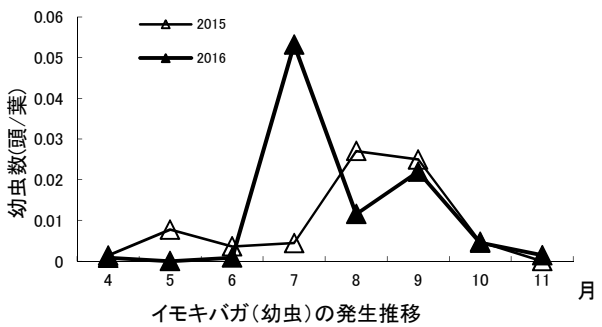
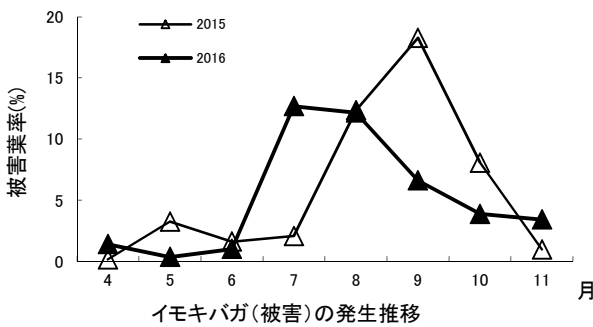
発生量の根拠(調査結果)

- ・ 8月下旬の調査の結果、被害葉率は20.9%(例年17.9%、前年12.2%)と例年並であった。
- ・ 幼虫数は、100葉当たり4頭(例年2頭、前年3頭)であるが、過去データ数の不足により、判定不可。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)



防除のポイント

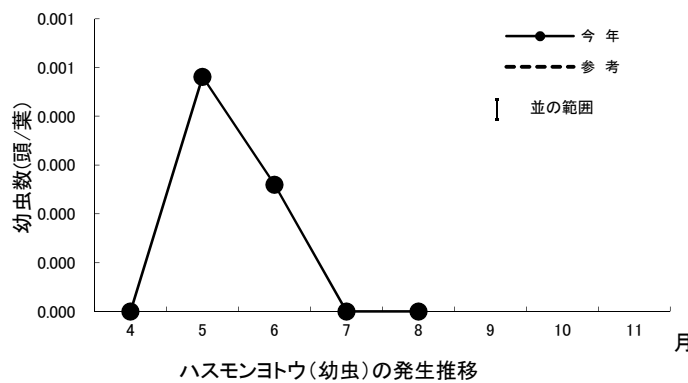
- ・ 老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。
- ・ つづった葉の内部に潜んでおり、直接薬剤がかかりにくいいため浸透移行性のある薬剤を使用する。

作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハスモンヨトウ		
8月の発生量(現況)	(発生なし) 判定不可		
9月の増減傾向			
増減傾向の根拠	データの蓄積不足のため、判定保留。		

発生量の根拠(調査結果)

- ・ 8月下旬の調査の結果、幼虫数は0頭と観察されなかった。

(今年のデータ)



若齢幼虫



中齢幼虫



終齢幼虫

防除のポイント

- ・ 老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。